

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名	就職活動対策Ⅰ	
必修選択	選択	(学則表記)	就職活動対策Ⅰ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	1 15
使用教材	なし		出版社	なし
科目の基礎情報②				
授業のねらい	・実習に参加する目的を理解し、社会人として（現場で）必要なスキル・考え方を習得する。 ・就職活動の流れを知り、すぐに動き出せる準備をする。			
到達目標	・現場で問題が起こった際、上司や教員と連携を取り、状況に応じて適切な対応をすることができる。 ・就職活動や実習中に、自分の意見や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。 ・就職活動に向けて自己分析を行い、自身の強みを分かりやすく相手に伝えることができる。			
評価基準	発表点40％、提出物30％、授業態度30％			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目	インターンシップ実習Ⅰ・未来デザインプログラムⅠ・プレゼンテーションⅠ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	木村 一颯		実務経験	
実務内容				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開				
回数	単元	内容		
1	インターンシップ実習①	・年間スケジュールの確認、実習の目的を理解する。 ・実習先の決定方法について知る。		
2	インターンシップ実習②	・実習での心構えを学ぶ。 ・実習報告書、実務経験実績表の記入、提出方法を知る。		
3	インターンシップ実習③	・実習での心構え、マナーについて学ぶ。 ・先輩からのアドバイスを聞く。		
4	社会人基礎力①	社会人（実習先）に必要なスキル、考え方を知る。		
5	社会人基礎力②	社会人（実習先）に必要なスキル、考え方を知る。		
6	社会人基礎力③	社会人（実習先）に必要なスキル、考え方を知る。		
7	業界研究①	将来の職種、就職活動、就職後の状況について理解する。		
8	業界研究②	将来の職種、就職活動、就職後の状況について理解する。		
9	業界研究③	将来の職種、就職活動、就職後の状況について理解する。		
10	業界研究④	将来の職種、就職活動、就職後の状況について発表する。		
11	インターンシップ実習④	実習での経験を振り返り、発表をする。		
12	インターンシップ実習⑤	実習での経験を振り返り、実習の目的の再確認する。		
13	自己分析①	自分史を作成する。 ①エピソードを思い出す		
14	自己分析②	自分史を作成する。 ②エピソードを分析する		
15	自己分析③	自分史を作成する。 ②エピソードを分析する		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職活動対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職活動対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		1 15
使用教材	なし		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	・実習に参加する目的を理解し、社会人として（現場で）必要なスキル・考え方を習得する。 ・就職活動の流れを知り、すぐに動き出せる準備をする。				
到達目標	・現場で問題が起こった際、上司や教員と連携を取り、状況に応じて適切な対応をすることができる。 ・就職活動に必要な書類（履歴書・ジョブカード）が作成できる。 ・就職活動生としてふさわしい身だしなみができる。 ・就職活動や実習中に、自分の意見や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。				
評価基準	発表点40％、提出物30％、授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	インターンシップ実習Ⅰ・未来デザインプログラムⅡ・プレゼンテーションⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	木村 一颯		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	就職活動の流れ	就職活動の基本的な流れを知る。			
2	身だしなみ指導	実習・就職における身だしなみの確認をする。			
3	就職活動について① (履歴書作成)	履歴書の書き方を学ぶ。			
4	就職活動について② (履歴書作成)	履歴書の書き方を学ぶ。			
5	就職活動について③ (ジョブカード作成)	自己紹介文（ジョブカード）の作成方法について知る。			
6	就職活動について④ (ジョブカード作成)	自己紹介文（ジョブカード）を作成する。			
7	面接練習 ①	・面接試験の種類（個人面接、集団面接）を知る。 ・面接試験の目的（面接で何を見られているか）を理解する。			
8	面接練習 ②	・面接試験の入退室の仕方を知る。 ・面接試験の回答を考える。※面接の実践は、プレゼンテーション基礎で行う			
9	就職活動実践①	・求人票の見方を学ぶ。 ・就職指導室の使い方について知る。			
10	企業研究①	気になる企業についてグループで調査する。			
11	企業研究②	気になる企業についてグループで発表する。			
12	企業研究③	自分の志望動機を作成する。			
13	筆記試験対策	SPI、適性検査の内容を知り、勉強方法を理解する。			
14	就職活動実践②	就職活動の具体的な計画を立てる。 (就職活動の方法の確認、春休みの動きの確認)			
15	まとめ	1年間の振り返り、就職・実習の目標設定をする。			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップ実習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ実習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	5	200
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	・登録販売者資格取得にあたり必要な実務経験を積む ・実習を通して、登録販売者に必要な知識や技術を身につける				
到達目標	・一緒に働く現場の店長やその他スタッフにとって、一緒に働きたいと求められる働きをする ・販売員としての接客応対スキルを活かし、お客様応対がスムーズに出来る ・一般用医薬品の知識を他者に説明する				
評価基準	企業側評価：80%(事項別評価75点、総合評価5点)、学校側評価(レポート)20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医薬品登録販売者				
関連科目	就職活動対策Ⅰ・就職活動対策Ⅱ・シミュレーション販売				
備考	原則、現場での実習形式として実施する。				
担当教員	木村 一颯			実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	1	30
使用教材	30時間でマスター Office2019 パソコン技能検定 対策問題集 3級 パソコン技能検定 模擬問題集 3級 パソコン技能検定 対策問題集 2級			出版社	実教出版 三幸学園 三幸学園 三幸学園

科目の基礎情報②

授業のねらい	タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける。 また、Word・Excelの操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける。				
到達目標	パソコン技能検定3級で求められる文字数（350字/10分）を入力できる。 ビジネス文書の入力をスムーズに作成できる。				
評価基準	テスト60％、課題提出/平常点40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	榮田 隼			実務経験	○
実務内容	商工会議所パソコン教室にてインストラクターとして2年間勤務した実務経験を基に、Word・Excelの操作の習得及び実際の業務に役立つスキルを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・概要・タッチタイピング	授業のねらい・年間の授業予定等説明・検定について・タッチタイピングの方法と必要性について Windowsの基本操作・タッチタイピング（ホームポジション）の練習
2	タッチタイピング Wordの基礎・基本入力	タッチタイピング（上段/下段）の練習・入力問題実施 変換、文節区切りの変更、再変換、ファンクションキー、記号と特殊文字、手書き入力（IMEパッド）について
3	入力練習 ビジネス文書の基本	入カスピード練習（10分）、フォント、フォントサイズ、文字修飾、コピー、貼り付け、切り取りについて ビジネス文書の基本型と入力の仕方を学ぶ
4	表作成	入カスピード練習（10分） 表作成の説明について
5	文書作成①	入カスピード練習（10分） 文書作成問題練習
6	文書作成②	入カスピード練習（10分） 文書作成問題練習
7	文書作成③	入カスピード練習（10分） 文書作成問題練習
8	パソコンの知識①	入カスピード練習（10分） 学科問題に必要なパソコン知識の説明
9	パソコンの知識②	入カスピード練習（10分） コンピュータ関連知識の説明
10	テスト（Word）	入力問題・文書作成問題の実施
11	Excelの概要・データ入力	入カスピード練習（10分） Excelの初期画面、基本データ入力、オートフィル機能、罫線、四則計算について
12	Excel基本復習、基本的な関数	入カスピード練習（10分） Excel基本復習・SUM、AVERAGE、MAX、MIN、絶対参照について
13	グラフ	入カスピード練習（10分） グラフの作成・グラフ要素について
14	表計算練習①	入カスピード練習（10分） 表作成問題練習
15	表計算練習②	入カスピード練習（10分） 表作成問題練習

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		1 30
使用教材	30時間でマスター Office2019 パソコン技能検定 対策問題集 3級 パソコン技能検定 模擬問題集 3級 パソコン技能検定 対策問題集 2級			出版社	実教出版 三幸学園 三幸学園 三幸学園
科目の基礎情報②					
授業のねらい	タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける。 また、Word・Excelの操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける。				
到達目標	パソコン技能検定3級レベルのWord、Excel操作ができる。 パソコン技能検定2級レベルの操作を行うことができる。 PowerPointの基本的な操作ができる。				
評価基準	テスト60％、課題提出/平常点40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級				
関連科目	パソコン演習Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	榮田 隼			実務経験	○
実務内容	商工会議所パソコン教室にてインストラクターとして2年間勤務した実務経験を基に、Word・Excelの操作の習得及び実際の業務に役立つスキルを教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	検定に向けて・前期復習		検定試験の実施手順・数式印刷の説明 入力問題、文書作成問題、表計算問題		
2	パソコン検定3級対策①		計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題		
3	パソコン検定3級対策②		計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題		
4	パソコン検定3級対策③		計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題		
5	パソコン検定3級対策④		計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題		
6	パソコン検定3級対策⑤		計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題		
7	パソコン検定3級対策⑥		計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題		
8	Wordのいろいろな機能①		入カスピード練習（10分） 図形・ワードアート・画像について		
9	Wordのいろいろな機能②		入カスピード練習（10分） 段組み、ドロップキャップ、割注について		
10	Excelのいろいろな関数①		入カスピード練習（10分） COUNT、RANK.EQ、ROUND、IFについて		
11	Excelのいろいろな機能②		入カスピード練習（10分） 条件付き書式、複合グラフについて		
12	テスト（Excel）		入カスピード練習（10分） Excelの確認テスト・表計算問題練習		
13	PowerPointの操作①		PowerPointについての基本操作について		
14	PowerPointの操作②		画面切り替え、アニメーション、ハイパーリンクについて		
15	PowerPoint作成		PowerPoint作成練習		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	接客スキルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	接客スキルⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		30
使用教材	①サービス接遇検定2級公式テキスト ②サービス接遇検定1・2級実問題集 第52～58回		出版社	①～②早稲田教育出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ビジネスマナーの基本を習得し、サービス接遇を行うのに必要な知識と技能を身につける。 「お客様第一」で仕事をする意識を常に持ち続けることの大切さを理解する。				
到達目標	適切な敬語を使うことができる。 対人関係において必要な対人スキルを実践することができる。 状況に応じた対応（TPOに合わせた適切な行動・協調・臨機応変さ）ができる。				
評価基準	期末テスト50％、小テスト30％、授業態度（取り組み・参加姿勢と理解度）20％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	サービス接遇実務検定、秘書技能検定、ビジネス文書技能検定				
関連科目	接客スキルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	柳 敦子		実務経験	○	
実務内容	百貨店、婚礼業界、美容業界で10年の接客接遇実務経験を基に、ビジネスマナーの基本を習得し、サービス接遇を行うのに必要な知識と技能を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション ビジネスマナーについて		授業の流れや目的、到達目標について 実習先あいさつや就職活動をイメージしたお辞儀・立ち方・座り方・入退室を実践		
2	サービス接遇実務検定について		サービス接遇実務検定2級・準1級の概要について		
3	サービススタッフの資質① 敬語①		サービス業における必要な要件について 敬語について①		
4	サービススタッフの資質② 敬語②		「お客さま第一」の考え方に基づく行動・態度について 敬語について②		
5	専門知識① 敬語③		サービスの意義と役割意識について 敬語について③		
6	専門知識② 敬語④		商業用語・経済用語について 敬語について④		
7	一般知識① 敬語⑤		ことわざとその意味・慣用句・菓子の種類・物の数え方について 敬語について⑤		
8	一般知識② 敬語⑥		時事用語について 敬語について⑥		
9	対人技能①		人間関係の基本としての愛嬌や愛想・挨拶について 接遇者としての礼儀に添った服装・言葉遣いや態度振る舞いについて		
10	対人技能②		あらゆる場面での適切な接遇用語について		
11	実務技能①		お客さまの事情を考慮した対処の仕方と問題処理の基本について		
12	実務技能②		店舗環境とお客さまをもてなすことについて 金品の管理・搬送の一連の行動や作業について		
13	実務技能③		祝儀袋・不祝儀袋の表書きや水引の種類について お見舞い・お供え・贈り物の知識と慶弔時の服装について		
14	期末テスト		期末テストの実施		
15	総まとめ		テストの振り返りと総まとめ		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	接客スキルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	接客スキルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		30
使用教材	①サービス接遇検定2級公式テキスト		出版社	①～②早稲田教育出版	
	②サービス接遇検定1・2級実問題集 第52～58回				
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ビジネスマナーの基本を習得し、サービス接遇を行うのに必要な知識と技能を身につける。 「お客様第一」で仕事をする意識を常に持ち続けることの大切さを理解する。				
到達目標	適切な敬語を使うことができる。 対人関係において必要な対人スキルを実践することができる。 状況に応じた対応（TPOに合わせた適切な行動・協調・臨機応変さ）ができる。				
評価基準	期末テスト50％、小テスト30％、授業態度（取り組み・参加姿勢と理解度）20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	サービス接遇実務検定、秘書技能検定、ビジネス文書技能検定				
関連科目	接客スキルⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	柳 敦子		実務経験		○
実務内容	百貨店、婚礼業界、美容業界で10年の接客接遇実務経験を基に、ビジネスマナーの基本を習得し、サービス接遇を行うのに必要な知識と技能を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション 問題実践①		前期の復習、授業の流れや目的・到達目標について サービススタッフの資質について復習		
2	問題実践②		専門知識・一般知識について復習		
3	問題実践③		対人技能について復習		
4	問題実践④		実務技能について復習		
5	検定対策①		検定試験に向けた対策①		
6	検定対策②		検定試験に向けた対策②		
7	検定対策③		検定試験に向けた対策③		
8	日本のしきたり		暦・月の別称・日本の祝日・年中行事や冠婚葬祭の種類とマナーについて		
9	言葉遣い		相手への紹介の丁寧な言い方やお客さまに対しての丁寧な言い方について		
10	一般常識		商業用語・経済用語・社会常識・時事用語・ことわざ・慣用句について		
11	職場での対応		上司と部下、先輩と後輩、同僚間でのコミュニケーションについて		
12	お客様対応		効果的な対応・愛嬌や愛想ある対応・気配りのある対応の対処について		
13	電話対応		予約や問い合わせの受け方やクレーム対応と留守番電話対応について 電話の取り次ぎや伝言について		
14	期末テスト		期末テストの実施		
15	総まとめ		テストの振り返りと総まとめ		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラムⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック（WEBアプリ）		出版社	FCEエデュケーション	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齋藤 瑞希		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	専門学校へようこそ！		「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ		
2	SANKOワークコンピテンス		SANKOワークコンピテンスの理解を深める		
3	7つの習慣とは？		7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ		
4	自分制限パラダイムを解除しよう！		自分制限パラダイムの意味について学ぶ		
5	自信貯金箱		自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ		
6	刺激と反応		「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ		
7	言霊～ことだま～		言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ		
8	影響の輪		集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ		
9	選んだ道と選ばなかった道		自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ		
10	人生のビジョン		入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする		
11	大切なことは？		なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ		
12	一番大切なことを優先する		スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ		
13	時間管理のマトリクス		第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ		
14	私的成功の振り返り		前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う		
15	リーダーシップを発揮する		リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラムⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック（WEBアプリ）		出版社	FCEエデュケーション	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体现することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齋藤 瑞希		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	信頼貯金箱		信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ		
2	割れた窓の理論		規則を守る大切さ、重要性を理解する		
3	Win-Winを考える		お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ		
4	豊かさマインド		人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ		
5	理解してから理解される		人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る		
6	相乗効果を発揮する		人と違いがあることに価値があることを学ぶ		
7	自分を磨く		自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える		
8	未来は大きく変えられる		人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ		
9	人生ビジョンを見直そう		将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する		
10	未来マップを作ろう①		未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める		
11	未来マップを作ろう②		未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする		
12	感謝の心		人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える		
13	7つの習慣授業の復習		7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する		
14	未来デザインプログラムの振り返り		7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する		
15	2年生に向けて		1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	プレゼンテーションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼンテーションⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	1	15
使用教材	プリント		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	・就職や実習はもちろん、普段の学校生活におけるコミュニケーション能力を身に付ける。 ・自己の意思・考えを分かり易く相手に伝える能力、相手の話を聞き主張できる能力を身に付ける。 ・学生が業界・職種について自ら考え発表する機会を設けることで、業界・職種への理解を高め、 なりたい職業イメージを明確化する。				
到達目標	・人前で自分の意思・考えを分かり易く話すことができる。 ・業界・職種への理解を高め、なりたい職業イメージが明確になっている。				
評価基準	発表：70％　小テスト・提出物：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	就職活動対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山下　真依		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	プレゼンテーションとは		・傾聴とは　・アクティブリスニング		
2	話す時の心構えと基本		・ビクチャーフィギュア　・思考力と表現力		
3	表情（表現力）		・第一印象(メラビアンの法則)　・表情チェック ・即題スピーチ		
4	思考力①		・思考力とは　・ストーリー構成の型　・いろいろな立場		
5	思考力②、表現力		・ストーリー構成の三原則　・PREP法　・show&tell		
6	自己判断、自己分析		・思考力、表現力のセルフチェック　・改善点を知る		
7	ディスカッション		・グループディスカッションの基本		
8	業界・職種・仕事内容 研究①		・個人で調べ、まとめる		
9	業界・職種・仕事内容 研究②		・グループ内で個人発表		
10	業界・職種・仕事内容 研究③		・個人発表を基に、グループで調べまとめる		
11	業界・職種・仕事内容 研究④		・個人発表を基に、グループで調べまとめる		
12	業界・職種・仕事内容 研究⑤		・グループ毎で発表		
13	発表の振り返り		・思考力、表現力について自己評価、他者評価を実施		
14	振り返り		・内容の振り返り ・確認テスト		
15	即題スピーチ 前期のまとめ		・長所、前期努力したこと等 ・前期のまとめ		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	プレゼンテーションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼンテーションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		1 15
使用教材	プリント			出版社	なし
科目の基礎情報②					
授業のねらい	・就職や実習はもちろん、普段の学校生活におけるコミュニケーション能力を身に付ける。 ・自己の意思・考えを分かり易く相手に伝える能力、相手の話を聞き主張できる能力を身に付ける。 ・学生が業界・職種について自ら考え発表する機会を設けることで、業界・職種への理解を高め、 なりたい職業イメージを明確化する。				
到達目標	・就職活動や職場等で人前で発表できる。				
評価基準	発表：70％ 小テスト・提出物：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	就職活動対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山下 真依			実務経験	
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	自分自身を知る①	・4つの自分(ジョハリの窓) ・自己PR文作成			
2	自分自身を知る②	・自己PR発表(動画撮影)			
3	自己分析①	・自己分析の理解			
4	自己分析②	・自己分析づくり			
5	模擬面接	・模擬面接(ビデオ撮影)			
6	発表の振り返り	・自己PR、模擬面接の振り返りを実施			
7	実習・就職指導①	企業研究・模擬面接・グループディスカッション			
8	実習・就職指導②	企業研究・模擬面接・グループディスカッション			
9	実習・就職指導③	企業研究・模擬面接・グループディスカッション			
10	実習・就職指導④	企業研究・模擬面接・グループディスカッション			
11	実習・就職指導⑤	企業研究・模擬面接・グループディスカッション			
12	実習・就職指導⑥	企業研究・模擬面接・グループディスカッション			
13	実習・就職指導⑦	企業研究・模擬面接・グループディスカッション			
14	実習・就職指導⑧	企業研究・模擬面接・グループディスカッション			
15	実習・就職指導⑨ 総まとめ	企業研究・模擬面接・グループディスカッション 総まとめ			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	薬理学Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	薬理学Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		30
使用教材	登録販売者試験 手引き集		出版社	三幸学園(三幸医療カレッジ)	
	登録販売者受験対策 テキスト				
	登録販売者受験対策講座 練習問題集				
科目の基礎情報②					
授業のねらい	登録販売者および一般用医薬品を扱う専門職が覚えるべき成分とその薬理作用を習得する。				
到達目標	主なOTCの成分名とその薬理作用、適応症を覚え、生活者に説明することができる。 主なOTCの成分の副作用や相互作用を覚え、生活者に正しい服用の仕方を伝えることができる。 登録販売者試験3章に出題される内容を理解し、試験に合格することができる。				
評価基準	理解度テスト：50%、小テスト：30%、授業態度その他：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医薬品登録販売者、動物用医薬品登録販売者、調剤事務検定				
関連科目	基礎医薬品Ⅰ・基礎医薬品Ⅱ・生薬・漢方学Ⅰ・生薬・漢方学Ⅱ・解剖生理学Ⅰ・解剖生理学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	本間 篤		実務経験		○
実務内容	大手薬局にて薬剤師として5年勤務した実務経験を基に、登録販売者および一般用医薬品を扱う専門職が覚えるべき成分とその薬理作用を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	イントロダクション 3-I 精神神経に作用する薬		登録販売者試験のしくみ、授業の進め方、成績評価等に関する説明 1.かぜ薬		
2	3-I 精神神経に作用する薬		2.解熱鎮痛薬 3.眠気を促す薬		
3	3-I 精神神経に作用する薬		4.眠気を防ぐ薬 5.鎮量薬 6.小児鎮静薬		
4	3-II 呼吸器官に作用する薬		1.鎮咳去痰薬		
5	3-II 呼吸器官に作用する薬		1.鎮咳去痰薬つづき 2.含嗽薬		
6	第1回から第5回の振り返り		第1回から第5回で学んだ内容の総復習、理解度テストの実施および見直し		
7	3-III 胃腸に作用する薬		1.胃の薬 2.腸の薬		
8	3-III 胃腸に作用する薬		3.胃腸鎮痛鎮痙薬 4.その他の消化器器官用薬		
9	3-IV 心臓などの器官や血液に作用する薬		1.強心薬 2.高コレステロール改善薬 3.貧血用薬		
10	第7回から第9回の振り返り		第7回から第9回で学んだ内容の総復習、理解度テストの実施および見直し		
11	3-V 排泄に関わる部位に作用する薬		1.痔の薬 2.その他の泌尿器用薬		
12	3-VI 婦人薬		具体的な配合成分と作用の仕組み		
13	3-VII 内服アレルギー用薬 3-VIII 鼻に用いる薬		具体的な配合成分と作用の仕組み		
14	第11回から第13回の振り返り		第11回から第13回で学んだ内容の総復習、理解度テストの実施および見直し		
15	総まとめ		薬理学Ⅰで学習した成分の総まとめ、過去問演習など		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	薬理学Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	薬理学Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		30
使用教材	登録販売者試験 手引き集		出版社	三幸学園(三幸医療カレッジ)	
	登録販売者受験対策 テキスト				
	登録販売者受験対策講座 練習問題集				
科目の基礎情報②					
授業のねらい	登録販売者および一般用医薬品を扱う専門職が覚えるべき成分とその薬理作用を習得する。				
到達目標	主なOTCの成分名とその薬理作用、適応症を覚え、生活者に説明することができる。 主なOTCの成分の副作用や相互作用を覚え、生活者に正しい服用の仕方を伝えることができる。 医薬品の特性を正しく知り、副作用と疑われる事例などが発生した場合の適切な対応を生活者に伝えることができる。				
評価基準	理解度テスト：50%、小テスト：30%、授業態度その他：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医薬品登録販売者、動物用医薬品登録販売者、調剤事務検定				
関連科目	基礎医薬品Ⅰ・基礎医薬品Ⅱ・生薬・漢方学Ⅰ・生薬・漢方学Ⅱ・解剖生理学Ⅰ・解剖生理学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	本間 篤		実務経験		○
実務内容	大手薬局にて薬剤師として5年勤務した実務経験を基に、登録販売者および一般用医薬品を扱う専門職が覚えるべき成分とその薬理作用を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	イントロダクション 3-Ⅸ 眼科用薬		登録販売者試験のしくみ、授業の進め方、成績評価等に関する説明 眼科で用いられる具体的な配合成分と作用の仕組み		
2	3-Ⅹ 皮膚に用いる薬		皮膚に用いられる具体的な配合成分と作用の仕組み		
3	3-Ⅺ 歯や口中に用いる薬 3-Ⅻ 禁煙補助剤		1.歯痛・歯槽膿漏薬 2.口内炎用薬 喫煙とニコチン、禁煙補助剤の作用と副作用など		
4	3-ⅩⅢ 滋養強壮保健薬		保健薬、ビタミン、カルシウム、アミノ酸等		
5	3-ⅩⅣ 漢方・生薬製剤		漢方処方製剤、その他の生薬製剤		
6	3-ⅩⅤ 公衆衛生用薬 3-ⅩⅥ 一般用検査薬		消毒薬、殺虫剤、忌避剤 尿糖・尿タンパク検査薬、妊娠検査薬		
7	第1回から第6回の振り返り		第1回から第6回で学んだ成分の総復習、理解度テストの実施および見直し		
8	1-Ⅰ 医薬品概論 1-Ⅱ 安全性と影響要因		医薬品の本質、リスク評価、健康食品 副作用、不適正な使用と有害事象、相互作用、小児・高齢者、プラセボ効果等		
9	1-Ⅲ 適切な医薬品選択 1-Ⅳ 薬害の歴史		OTCで対処可能な症状等、販売時コミュニケーション 副作用の考え方、主な訴訟等		
10	第8回から第9回の振り返り		第8回から第9回で学んだ内容の総復習、理解度テストの実施および見直し		
11	5-Ⅰ 医薬品の適正使用情報		添付文書、製品表示、安全性情報、情報提供の活用		
12	5-Ⅱ 医薬品の安全対策 5-Ⅲ 健康被害の救済		副作用情報等の収集、評価、措置 医薬品副作用被害救済制度		
13	5-Ⅳ・Ⅴ 安全対策・啓発活動 使用上の注意		OTCに関する主な安全対策、適正使用のための啓発活動 使用上の注意の記載と対象となる成分		
14	第11回から第13回の振り返り		第11回から第13回で学んだ内容の総復習、理解度テストの実施および見直し		
15	総まとめ		薬理学Ⅰで学習した成分の総まとめ、過去問演習など		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	基礎医薬品Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	基礎医薬品Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		30
使用教材	よくわかる一般用医薬品 第2版 登録販売者試験 手引き集 登録販売者受験対策 テキスト 登録販売者受験対策講座 練習問題集		出版社	薬事日報社 三幸学園(三幸医療カレッジ)	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	医薬品を取り扱う専門家として一般用医薬品で使用されている成分の特徴・働き・副作用等の医薬品に対する専門的知識を習得する。				
到達目標	登録販売者試験第3章に対応できる知識を持つ				
評価基準	テスト40%、小テスト40%、AL20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医薬品登録販売者				
関連科目	薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ、解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、生薬・漢方学Ⅰ、生薬・漢方学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松上 泰和		実務経験	○	
実務内容	ドラッグストア、調剤薬局にて薬剤師として6年勤務した実務経験を元に、一般用医薬品で使用されている成分の特徴・働き・副作用等の医薬品に対する専門的知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	基礎医薬品に配合される各配合成分の役割について			
2	精神神経に作用する薬	解熱鎮痛成分について			
3	精神神経に作用する薬 胃腸に作用する薬 等	抗コリン成分について			
4	精神神経に作用する薬 胃腸に作用する薬 等	抗ヒスタミン成分について			
5	精神神経に作用する薬 内服アレルギー用薬 等	アドレナリン作動成分について			
6	復習＆テスト	今までの復習 テスト			
7	精神神経に作用する薬 呼吸器官に作用する薬	鎮咳成分について			
8	精神神経に作用する薬	鎮静成分について			
9	精神神経に作用する薬 胃腸に作用する薬 等	局所麻酔成分について			
10	復習＆テスト	今までの復習 テスト			
11	精神神経に作用する薬 胃腸に作用する薬 等	ミネラル成分について			
12	胃腸に作用する薬	生菌成分について			
13	胃腸に作用する薬 皮膚に用いる薬 等	殺菌消毒成分について			
14	復習＆テスト	今までの復習 テスト			
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	基礎医薬品Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	基礎医薬品Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	2	30
使用教材	よくわかる一般用医薬品 第2版 登録販売者試験 手引き集 登録販売者受験対策 テキスト 登録販売者受験対策講座 練習問題集		出版社	薬事日報社 三幸学園(三幸医療カレッジ)	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	医薬品を取り扱う専門家として一般用医薬品で使用されている成分の特徴・働き・副作用等の医薬品に対する専門的知識を習得する。				
到達目標	登録販売者試験第3章に対応できる知識を持つ				
評価基準	テスト40%、小テスト40%、AL20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医薬品登録販売者				
関連科目	薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ、解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、生薬・漢方学Ⅰ、生薬・漢方学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松上 泰和		実務経験		○
実務内容	ドラッグストア、調剤薬局にて薬剤師として6年勤務した実務経験を元に、一般用医薬品で使用されている成分の特徴・働き・副作用等の医薬品に対する専門的知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		振り返りと後期授業の進め方		
2	胃腸に作用する薬 眼科用薬 等		収斂成分について 刺激成分について		
3	胃腸に作用する薬 眼科用薬 等		保水成分について		
4	精神神経に作用する薬 呼吸器官に作用する薬 等		酵素成分について		
5	復習&テスト		今までの復習 テスト		
6	排泄に関わる部位に作用する薬 皮膚に用いる薬		ステロイド成分について		
7	心臓などの器官や血液に作用する薬		高コレステロール改善成分について		
8	婦人薬 皮膚に用いる薬		ホルモン成分について 抗凝血成分について		
9	精神神経に作用する薬 滋養強壮保健薬 等		ビタミン成分について		
10	復習&テスト		今までの復習 テスト		
11	主な医薬品とその作用①		主な医薬品とその作用		
12	主な医薬品とその作用②		主な医薬品とその作用		
13	主な医薬品とその作用③		主な医薬品とその作用		
14	テスト		確認テスト		
15	総まとめ		テストの振り返りと総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	生薬・漢方学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	生薬・漢方学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	2	30
使用教材	登録販売者試験 手引き集 登録販売者受験対策 テキスト 登録販売者受験対策講座 練習問題集 ユーキャンの登録販売者お仕事マニュアル 生薬と処方がわかる漢方薬			出版社	三幸学園(三幸医療カレッジ) ユーキャン
科目の基礎情報②					
授業のねらい	登録販売者試験に合格するため最低必要な、漢方の特徴、代表的な漢方処方製剤、生薬成分の主な副作用、相互作用についての知識を身につける。				
到達目標	・漢方について理解をし、症状に合わせた漢方薬を説明できる ・様々な症状のお客さまに対しどの漢方薬が適切か理解し説明できる				
評価基準	テスト70％（半期に2回） 授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医薬品登録販売者				
関連科目	薬理学Ⅰ・薬理学Ⅱ・基礎医薬品Ⅰ・基礎医薬品Ⅱ・薬事関係法規・制度Ⅰ・薬事関係法規・制度Ⅱ・解剖生理学Ⅰ・解剖生理学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石川 達也			実務経験	○
実務内容	漢方薬局にて登録販売者として13年勤務した実務経験を基に、登録販売者試験に合格するため最低必要な代表的な漢方処方製剤などの知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		授業の流れ、到達目標について		
2	漢方処方製剤・生薬成分		教科書ⅩⅣ 1) 漢方の特徴・漢方薬使用における基本的な考え方 「証」とは		
3	漢方処方製剤・生薬成分		教科書ⅩⅣ 1) 漢方の特徴・漢方薬使用における基本的な考え方 「陰陽」とは		
4	漢方処方製剤・生薬成分		教科書ⅩⅣ 2) 代表的な漢方処方製剤、適応となる症状・体質、主な副作用		
5	漢方処方製剤・生薬成分		教科書ⅩⅣ 3) 相互作用、受診勧奨 その他の生薬成分		
6	3章主な医薬品とその作用		精神神経に作用する薬 かぜ薬 （漢方・生薬）		
7	3章主な医薬品とその作用		精神神経に作用する薬 解熱鎮痛薬 （漢方・生薬）		
8	3章主な医薬品とその作用		精神神経に作用する薬 眠気を促す成分 鎮うん薬（乗り物防止薬）		
9	3章主な医薬品とその作用		精神神経に作用する薬 小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤（小児鎮静薬）		
10	3章主な医薬品とその作用 テスト		呼吸器官に作用する薬 生薬成分・漢方処方製剤 テスト(1回目)		
11	3章主な医薬品とその作用		呼吸器官に作用する薬 生薬成分・漢方処方製剤		
12	総まとめ		総まとめ 教科書は「現代医療における漢方薬」		
13	総まとめ		総まとめ 教科書は「現代医療における漢方薬」		
14	まとめ・テスト		テスト(2回目)学習した範囲の過去問題から出題		
15	解説・振り返り		テストの解説		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	生薬・漢方学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	生薬・漢方学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	2	30
使用教材	登録販売者試験 手引き集 登録販売者受験対策 テキスト 登録販売者受験対策講座 練習問題集 ユーキャンの登録販売者お仕事マニュアル 生薬と処方がわかる漢方薬			出版社	三幸学園(三幸医療カレッジ) ユーキャン
科目の基礎情報②					
授業のねらい	登録販売者試験に合格するため最低必要な、漢方の特徴、代表的な漢方処方製剤、生薬成分の主な副作用、相互作用についての知識を身につける。				
到達目標	・漢方について理解をし、症状に合わせた漢方薬を説明できる ・様々な症状のお客さまに対しどの漢方薬が適切か理解し説明ができる				
評価基準	テスト70％（半期に2回） 授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医薬品登録販売者				
関連科目	薬理学Ⅰ・薬理学Ⅱ・基礎医薬品Ⅰ・基礎医薬品Ⅱ・薬事関係法規・制度Ⅰ・薬事関係法規・制度Ⅱ・解剖生理学Ⅰ・解剖生理学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石川 達也			実務経験	○
実務内容	漢方薬局にて登録販売者として13年勤務した実務経験を基に、登録販売者試験に合格するため最低必要な代表的な漢方処方製剤などの知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	3章主な医薬品とその作用		胃腸に作用する薬 健胃成分（生薬成分）		
2	3章主な医薬品とその作用		胃腸に作用する薬 健胃成分（生薬成分）		
3	3章主な医薬品とその作用		胃腸に作用する薬 健胃成分（漢方処方製剤）		
4	3章主な医薬品とその作用		心臓などの機関や血液に作用する薬		
5	3章主な医薬品とその作用		心臓などの機関や血液に作用する薬		
6	3章主な医薬品とその作用		排泄に関わる部位に作用する薬 内用、外用痔疾用薬		
7	3章主な医薬品とその作用		排泄に関わる部位に作用する薬 泌尿器用薬		
8	3章主な医薬品とその作用 テスト		婦人薬 テスト(1回目)		
9	3章主な医薬品とその作用		内服アレルギー用薬		
10	3章主な医薬品とその作用		皮膚に用いる薬・歯や口中に用いる薬		
11	3章主な医薬品とその作用		滋養強壮保健薬		
12	総まとめ		総まとめ 教科書は「現代医療における漢方薬」		
13	総まとめ		総まとめ 教科書は「現代医療における漢方薬」		
14	テスト(2回目)		学習した範囲の過去問題から出題		
15	解説・振り返り		テストの解説		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	薬事関係法規・制度Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	薬事関係法規・制度Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		15
使用教材	カラー図解よくわかる薬規法医薬品販売制度編		出版社	薬事日報社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	薬機法は、医薬品販売業や調剤薬局等、医薬品を扱う全ての業種において、その理解と遵守が求められる。また登録販売者試験の出題領域であるため、本法律を読み解く力を身に付ける。				
到達目標	①登録販売者試験に出題されるポイントを理解し、問題演習（過去問題）を通じて試験の傾向を知る。 ②医薬品に関わる者として、必要な法知識を習得する。				
評価基準	定期試験：50％（2回）　小テスト：50％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医薬品登録販売者				
関連科目	薬理学Ⅰ・薬理学Ⅱ・生薬・漢方学Ⅰ・生薬・漢方学Ⅱ・解剖生理学Ⅰ・解剖生理学Ⅱ・資格試験対策Ⅰ・資格試験対策Ⅱ（2年前期）、医療品の安全対策と副作用（2年前期）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松上　泰和		実務経験	○	
実務内容	ドラッグストア、調剤薬局にて薬剤師として6年勤務した実務経験を元に、登録販売者試験の出題領域である薬機法を読み解く力を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		薬機法第一条・第二条		
2	第1章　医薬品の分類		1 医薬品の三つの分類		
3	第1章　医薬品の分類		1 医薬品の三つの分類		
4	第1章　医薬品の分類		2 一般用医薬品の三つの区分		
5	第1章　医薬品の分類		3 医薬品の販売に従事する者 4 登録販売者制度		
6	中間テスト		中間テスト		
7	第2章　薬局と医薬品販売業		1 薬局と医薬品販売業		
8	第2章　薬局と医薬品販売業		2 薬局		
9	第2章　薬局と医薬品販売業		3 店舗販売業		
10	第2章　薬局と医薬品販売業		4 配置販売業		
11	第3章　薬局、医薬品販売業の業務体制		1 薬局、医薬品販売業の業務管理、2 薬局開設者、店舗販売業者、配置販売業者の責務 3 医薬品の陳列、貯蔵の場所		
12	第3章　薬局、医薬品販売業の業務体制		4 情報提供、指導の場所、5 薬局、店舗販売業、配置販売業の業務体制 6 薬剤師、登録販売者、一般従事者の名札		
13	第3章　薬局、医薬品販売業の業務体制		7 薬局、店舗販売業、配置販売業に関する情報 8 医薬品の広告、9 障害を持つ勤務者に対する措置		
14	期末テスト		期末テスト		
15	第4章　医薬品の販売、情報提供と指導		栄養機能食品&まとめ		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	薬事関係法規・制度Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	薬事関係法規・制度Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		30
使用教材	カラー図解よくわかる薬規法医薬品販売制度編		出版社	薬事日報社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	薬機法は、医薬品販売業や調剤薬局等、医薬品を扱う全ての業種において、その理解と遵守が求められる。 また登録販売者試験の出題領域であるため、本法律を読み解く力を身に付ける。				
到達目標	①登録販売者試験に出題されるポイントを理解し、問題演習（過去問題）を通じて試験を突破できる実力をつける。 ②医薬品に関わる者として、卒業後あらゆる進路において業務に必要な法知識を習得する。				
評価基準	定期試験：50％（2回）　小テスト：50％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	登録販売者				
関連科目	薬理学Ⅰ・薬理学Ⅱ・生薬・漢方学Ⅰ・生薬・漢方学Ⅱ・解剖生理学Ⅰ・解剖生理学Ⅱ・資格試験対策Ⅰ・資格試験対策Ⅱ（2年前期）、医療品の安全対策と副作用（2年前期）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松上　泰和		実務経験	○	
実務内容	ドラッグストア、調剤薬局にて薬剤師として6年勤務した実務経験を元に、登録販売者試験の出題領域である薬機法を読み解く力を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	第4章　医薬品の販売、情報提供と指導		1 医薬品の販売の方法 1) 薬局医薬品、要指導医薬品の販売方法		
2	第4章　医薬品の販売、情報提供と指導		1 医薬品の販売の方法 2) 一般用医薬品の販売方法		
3	第4章　医薬品の販売、情報提供と指導		2 医薬品の情報提供と指導の方法		
4	第4章　医薬品の販売、情報提供と指導		3 調剤された薬剤の販売の方法		
5	第4章　医薬品の販売、情報提供と指導		4 医薬品販売に関するその他の規制		
6	中間テスト		中間テスト		
7	第5章　特定販売		1 特定販売とは		
8	第5章　特定販売		2 特定販売を行うには		
9	第5章　特定販売		3 特定販売の方法、4 特定販売における情報提供 5 インターネットモール事業者の協力		
10	第6章　医薬品の市販後安全対策と添付文章		1 医薬品の安全性情報の収集、検討、提供		
11	第6章　医薬品の市販後安全対策と添付文章		1 医薬品の安全性情報の収集、検討、提供		
12	第6章　医薬品の市販後安全対策と添付文章		2 医薬品の表示と添付文書		
13	第6章　医薬品の市販後安全対策と添付文章		2 医薬品の表示と添付文書		
14	期末テスト		期末テスト		
15	薬機法のまとめ		1年間のまとめ		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	解剖生理学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	解剖生理学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		2 30
使用教材	登録販売者 受験対策テキスト		出版社	三幸医療カレッジ	
	登録販売者試験 手引き集				
科目の基礎情報②					
授業のねらい	登録販売者を目指す薬理学を学ぶ際の基礎として、人体の構造や機能を知る事はより専門学を理解する為にとても大切な知識であり、また解剖生理学を学ぶことによって臨床での活用が期待される。				
到達目標	・解剖生理学（人体の仕組みと働き）を学び、薬の体への吸収・代謝・排泄を理解することができる。 ・医学知識と薬理学の大切さを知り、登録販売者への専門的な意識を高める。				
評価基準	テスト：50％　小テスト：20％　授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間の3分の2以上ある者。 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	登録販売者				
関連科目	薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ、基礎医薬品Ⅰ、基礎医薬品Ⅱ、生薬・漢方学Ⅰ、生薬・漢方学Ⅱ、薬事関係法規・制度Ⅰ、薬事関係法規・制度Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	三辻　宏明		実務経験		○
実務内容	東洋医学に基づいた個人の往診専門の診療や鍼灸師として11年勤務した実務経験を基に、登録販売者として必要な医学知識と並行して主な疾患と薬との関係性を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション 第2章　人体の構造と働き 人体の構造		総論：解剖生理学とは何か、登録販売者として学ぶ理由・大切さを理解する。 人体の構造と働き：これから学ぶ解剖生理学の内容について知る。 「細胞」から始まる人体の仕組みを知る。		
2	消化器系の臓器器官を学ぶ①		胃・腸・肝臓の名称や部位、働きを学ぶ。		
3	消化器系の臓器器官を学ぶ②		消化に関わる器官を学ぶ。		
4	消化器の臓器器官を学ぶ③		予想問題集で消化器のまとめをする。		
5	呼吸器系の臓器器官を学ぶ		呼吸のしくみと働きを学ぶ。		
6	循環器系の臓器器官を学ぶ①		循環器のしくみと働きを学ぶ① 心臓のはたらきを理解しましょう。		
7	循環器系の臓器器官を学ぶ②		循環器のしくみと働きを学ぶ② 血液（動脈・静脈）の成分や・血圧についてのを理解しましょう。		
8	循環器系の臓器期間を学ぶ③		循環器のしくみと働きを学ぶ③ 脾臓について・循環器系のまとめ		
9	泌尿器系の臓器器官を学ぶ①		泌尿器のしくみと働きを学ぶ。 腎臓の各名称とはたらきについて理解しましょう。		
10	泌尿器系の臓器器官を学ぶ②		泌尿器のおさらい・まとめをしましょう。		
11	感覚器の器官を学ぶ①		感覚器官のしくみとはたらきを学ぶ。（眼、鼻、耳）		
12	感覚器の器官を学ぶ②		感覚器官のしくみと働きについて学ぶ。（眼瞼、結膜、涙の通路、眼筋）		
13	感覚器の器官を学ぶ③		感覚器官のしくみと働きについて学ぶ。（皮膚、骨、筋肉、神経）		
14	前期の総まとめテスト		まとめテストを実施する。 過去問題集を解き、間違いは必ず見直しを行い、学習の成果をあげる。		
15	前期の総まとめ		前期内容のまとめテストを振り返り、テストの解答と解説を受け、理解を深める。 過去問題集を解き、間違いは必ず見直しを行い、学習の成果をあげる		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	解剖生理学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	解剖生理学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科	2	30
使用教材	登録販売者 受験対策テキスト			出版社	三幸医療カレッジ
	登録販売者試験 手引き集				
科目の基礎情報②					
授業のねらい	登録販売者として必要な医学知識を身につけ、並行して主な疾患と薬との関係性を学ぶ。				
到達目標	・解剖生理学（人体の仕組みと働き）を学び、薬の体への吸収・代謝・排泄を理解することができる。 ・医学知識と薬理学の大切さを知り、登録販売者への専門的な意識を高める。				
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間の3分の2以上ある者。 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	登録販売者				
関連科目	薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ、基礎医薬品Ⅰ、基礎医薬品Ⅱ、生薬・漢方学Ⅰ、生薬・漢方学Ⅱ、薬事関係法規・制度Ⅰ、薬事関係法規・制度Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	三辻　宏明			実務経験	○
実務内容	東洋医学に基づいた個人の往診専門の診療や鍼灸師として11年勤務した実務経験を基に、登録販売者として必要な医学知識と並行して主な疾患と薬との関係性を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	薬が働くしくみについて①		薬の全身作用と局所作用、薬の吸収と代謝について学ぶ。		
2	薬が働くしくみについて②		肝臓で行われる３大栄養素の代謝を復習しながら、代謝とは薬がどのように変化をして、排泄されているのかについて学びを深める。肝機能低下の症状について学ぶ。		
3	薬が働くしくみについて③		血液を循環した後の代謝と排泄について学ぶ。		
4	薬が働くしくみについて④		血液中の薬物が体内組織で作用する「トランスポーター」について学ぶ。		
5	薬が働くしくみについて⑤		血中濃度について理解する。		
6	薬が働くしくみについて⑥		内服薬や塗布剤の種類について学ぶ。		
7	薬の働くしくみについて⑦		前半のまとめ小テスト実施。		
8	症状から見た主な副作用①		全身に現れる副作用について学ぶ。		
9	薬の働くしくみについて②		精神科系に現れる副作用を学ぶ。		
10	薬の働くしくみについて③		体の局所に現れる副作用について学ぶ。消化器系		
11	薬の働くしくみについて④		体の局所に現れる副作用について学ぶ。呼吸器系		
12	薬の働くしくみについて⑤		体の局所に現れる副作用について学ぶ。循環器系		
13	薬の働くしくみについて⑥		体の局所に現れる副作用について学ぶ。泌尿器系・感覚器・皮膚		
14	前期のまとめテスト		まとめテストを実施する。 過去問題集を解き、間違いは必ず見直しを行い、学習の成果をあげる		
15	後期の総まとめ		後期内容のまとめテストを振り返り、解説を受け、理解を深める。 過去問題集を解き、間違いは必ず見直しを行い、学習の成果をあげる		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	調剤薬局事務Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	調剤薬局事務Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		1 30
使用教材	調剤事務講座 テキスト一式		出版社	日本医療事務協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	医療機関と保険薬局との関係性を知り、保険薬局における調剤事務員の役割と主な調剤報酬算定業務の深い知識を習得する				
	医療保険、保険調剤の仕組みを理解し、調剤報酬算定以外にも対応できる知識を身につける				
到達目標	医療機関と保険薬局との関係性を知り、保険薬局における調剤事務員の役割を述べることができる 医療保険、保険調剤の仕組みを理解し、ポイントを述べることができる 調剤薬局事務検定に合格することができる				
評価基準	評価テスト50％　小テスト20％　提出物/授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	調剤薬局事務検定				
関連科目	調剤薬局事務Ⅱ、調剤薬局概論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	中島　雅美		実務経験		○
実務内容	医療事務員として大学病院及び総合病院にて14年勤務している実務経験を基に、保険薬局における調剤事務員の役割と主な調剤報酬算定業務の深い知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	保険調剤		医療保険の仕組み（被保険者、被扶養者、保険医療機関、保険薬局の関係）、法別番号		
2	保険調剤		保険調剤の仕組み、医薬分業について、処方箋の知識		
3	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		処方箋の見方、調剤報酬点数表の構成、算定の原則、薬価計算（五捨五超入）		
4	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		レセプトの記載方法（上書き）、調剤基本料、薬学管理料の算定とレセプトの作成		
5	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		調剤料（内服薬）、計量混合調剤加算 ※処方箋問題集No.1～2		
6	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		調剤料（屯服薬）、時間外加算 ※処方箋問題集No.3～4		
7	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		一般名処方、調剤料（外用薬） ※処方箋問題集No.5～6		
8	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		乳幼児、麻薬処方（麻薬加算、麻薬処方箋の取り扱い）、予製剤 ※処方箋問題集No.7～8		
9	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		自家製剤加算、夜間・休日等加算 ※処方箋問題集No.9		
10	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		乳幼児、休日加算 ※処方箋問題集No.10		
11	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		漢方（浸煎薬・湯薬） ※処方箋問題集No.11～12		
12	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		内服用滴剤、かかりつけ薬剤師指導料 ※処方箋問題集No.13～14		
13	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		漸減療法 ※処方箋問題集No.15		
14	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		隔日投与 ※処方箋問題集No.17		
15	まとめ		調剤録、調剤レセプト作成		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	調剤薬局事務Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	調剤薬局事務Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		1 30
使用教材	調剤事務講座 テキスト一式		出版社	日本医療事務協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	医療機関と保険薬局との関係性を知り、保険薬局における調剤事務員の役割と主な調剤報酬算定業務の深い知識を習得する				
	医療保険、保険調剤の仕組みを理解し、調剤報酬算定以外にも対応できる知識を身につける				
到達目標	医療機関と保険薬局との関係性を知り、保険薬局における調剤事務員の役割を述べることができる 医療保険、保険調剤の仕組みを理解し、ポイントを述べることができる 調剤薬局事務検定に合格することができる				
評価基準	模試50％ 小テスト20％ 提出物/授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	調剤薬局事務検定				
関連科目	調剤薬局事務Ⅰ、調剤薬局概論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	中島 雅美		実務経験		○
実務内容	医療事務員として大学病院及び総合病院にて14年勤務している実務経験を基に、保険薬局における調剤事務員の役割と主な調剤報酬算定業務の深い知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		前期復習 一包化加算※処方箋問題集No.18		
2	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		一包化加算 ※処方箋問題集No.19		
3	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法		同日受付 ※処方箋問題集No.16・20		
4	薬の基礎知識		薬物治療の概要、医薬品の開発、医薬品の名前、薬の体内動態		
5	薬の基礎知識		薬の作用と適用、後発医薬品の普及促進の必要性について		
6	1月の検定対策		調剤検定の概要、学科問題 ※模擬問題集		
7	1月の検定対策（模試）		模擬問題		
8	1月の検定対策（模試）		模擬問題		
9	1月の検定対策（模試）		模擬問題		
10	1月の検定対策（模試）		模擬問題		
11	1月の検定対策（模試）		模擬問題		
12	公費負担医療		公費負担医療の仕組みについて 医療法		
13	公費負担医療適用の調剤報酬算定 レセプトの記載方法		生活保護		
14	公費負担医療適用の調剤報酬算定 レセプトの記載方法		特定疾患、小児慢性特定疾患		
15	総括		各自作成したレセプトを使用し総括を行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	調剤薬局概論		
必修選択	選択	(学則表記)	調剤薬局概論		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	くすりアドバイザー科		2 30
使用教材	デキる薬剤師をつくる現場の教科書			出版社	株式会社じほう
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①調剤薬局での基本業務を理解する。②調剤薬局での薬剤師業務を理解する。③保険制度について理解する。				
到達目標	・ 調剤薬局での調剤業務について説明ができる。 ・ 処方箋から必要事項を読み取ることができる。 ・ かかりつけ薬局のメリットについて説明ができる。 ・ ジェネリック医薬品について患者さまにわかりやすく説明ができる。 ・ お薬手帳の活用や薬剤師の服薬指導について具体的に述べることができる。				
評価基準	定期試験60%、小テスト及びレポート20%、授業態度20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	調剤薬局事務検定				
関連科目	調剤薬局事務ⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	中澤 香子			実務経験	○
実務内容	医療機関にて薬剤師として13年勤務した実務経験を基に、調剤薬局での基本業務について教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		調剤薬局概論の流れと到達目標について		
2	法規・制度・保険請求の常識①		医薬分業とかかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師 医療保険と保険薬局		
3	法規・制度・保険請求の常識②		調剤報酬の算定とレセプト 個人情報保護法と副作用報告		
4	服薬指導の常識①		服薬指導とお薬手帳 お薬手帳と薬歴管理		
5	服薬指導の常識②		ハイリスク薬について ここまでの振り返り		
6	日常業務の常識①		調剤技術と在庫管理 処方箋と疑義照会		
7	日常業務の常識②		一包化、粉碎、脱力ブセル 麻薬の取り扱い		
8	日常業務の常識③		ジェネリック医薬品って何？ 薬剤師が作成する薬歴って何？		
9	日常業務の常識④		医薬品情報を調べる ヒヤリ・ハットと調剤過誤		
10	服薬指導の常識③		薬の飲みやすさと服用の工夫 小児および高齢患者の服薬指導		
11	コミュニケーションの常識①		ファーマシューティカルコミュニケーションと地域医療 クレーム対応術を習得、認知症の人の向き合い方		
12	コミュニケーションの常識②		伝わる情報共有の秘訣と疑義照会 疑義照会とトレーシングレポート		
13	在宅の常識①		在宅医療と患者宅・介護施設での薬剤師業務 バイタルサインとフィジカルアセスメント		
14	テスト		テストを実施する		
15	総まとめ		テストの振り返りと総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビューティーケア		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーケア		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	くすりアドバイザー		30
使用教材	日本化粧品検定 準2級・3級対策テキスト 日本化粧品検定 2級対策テキスト 美肌検定の教科書		出版社	主婦の友社 マガジンハウス	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ドラッグストアで取り扱う化粧品等を説明、販売するための知識や技術を身に付ける。 3級の必須受験、2級の任意受験に対応する。 「シミュレーション販売」に繋がるロールプレイングを通して、使える知識として定着させる。				
到達目標	化粧品の種類、成分、使用方法や皮膚のメカニズムを理解し、人に説明できる。				
評価基準	テスト：30％　小テスト：20％　ロールプレイング30％　グループワーク：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本化粧品検定3級、日本化粧品検定2級 美肌検定、ナチュラルビューティスタイリスト検定				
関連科目	ヘルス＆ビューティー・シミュレーション販売				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・3級検定はwebから受験可能なため、カリキュラム終了後受験可能(無料)。				
担当教員	中川　美希		実務経験	○	
実務内容	美容院にて美容師として2年勤務した実務経験を基に、ドラッグストアで取り扱う化粧品等を説明、販売するための知識や技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の流れ・目的、到達目標の説明、広義の美容部員について理解する 商品知識が販売力につながる　メイクアップデモストOR販売ロープレデモスト実施			
2	PART1. まちがえがちな美容知識をチェック	クレンジングの基本～洗顔の基本(P22～26)P55　皮膚表面の図　P59 皮脂膜 ●美肌検定の教科書（P16＆62～64）			
3	PART1. まちがえがちな美容知識をチェック	化粧水の基礎知識～美容液について知る(P26～29)P55　皮膚表面の図　P59 皮脂膜 ●美肌検定の教科書（P65～69）			
4	PART2. 皮膚・肌について知ろう	1.皮膚の構造～2.皮膚のしくみと働き(皮膚表面の図)(P52～55) ●美肌検定の教科書（P26～27）			
5	PART2. 皮膚・肌について知ろう	○皮膚断面図テスト2.皮膚のしくみと働き～表皮の構造としくみ(P56～61) ●美肌検定の教科書（P30～31）			
6	PART2. 皮膚・肌について知ろう	2.皮膚のしくみと働き～表皮の構造としくみ (P56～61)			
7	PART2. 皮膚・肌について知ろう	2.皮膚のしくみと働き～真皮のしくみ（P62～64）＆(P31） ●美肌検定の教科書（P30～33＆49～53）			
8	PART2. 皮膚・肌について知ろう	○テスト 2.皮膚のしくみと働き～皮膚の付属器官　3皮膚の機能（P65～69）			
9	PART3. 肌の手入れと正しい知識	1.肌タイプと見分け方～2.肌悩みの原因とお手入れ(乾燥)(P72～77)＆（P32～35）＆（P126～127） ●美肌検定の教科書（P28～29＆34～38＆74～75＆80～84）			
10	PART3. 肌の手入れと正しい知識	2.肌悩みの原因とお手入れ(ニキビ・毛穴)(P78～83)＆（P30） ●美肌検定の教科書（P76～77）			
11	PART3. 肌の手入れと正しい知識	2.肌悩みの原因とお手入れ(シミ)(P84～87)＆（P58・120～125）＆（P31・36～37） ●美肌検定の教科書（P70～73）			
12	PART3. 肌の手入れと正しい知識	2.肌悩みの原因とお手入れ(くすみ・くま) (P88～91)＆（P58・120～125）			
13	PART3. 肌の手入れと正しい知識	○テスト 2.肌悩みの原因とお手入れ(しわ・たるみ)(P92～93)＆（P31）			
14	PART1. まちがえがちな美容知識をチェック	3級受験に向けてメイクアップの基本・まつ毛ケア・ボディケア・手や爪のケア（P38～48）P55 皮膚表面の図　P59 皮脂膜●美肌検定の教科書（P86～94）			
15	3級受験	PART1.まちがえがちな美容知識をチェック　復習 スペシャルケア・頭皮マッサージ・ハンドケアなどお楽しみメニュー(P128～130)			